

AHEAD JAPANとは

- 一般社団法人全国障害学生支援協議会（通称 AHEAD JAPAN）
- 2013年10月，全国42校の大学が発起校となって協議会設立
- 現在，全国65校（別添資料参照）の大学が法人正会員（およびそれに準じる第1種個人正会員）として参加

1

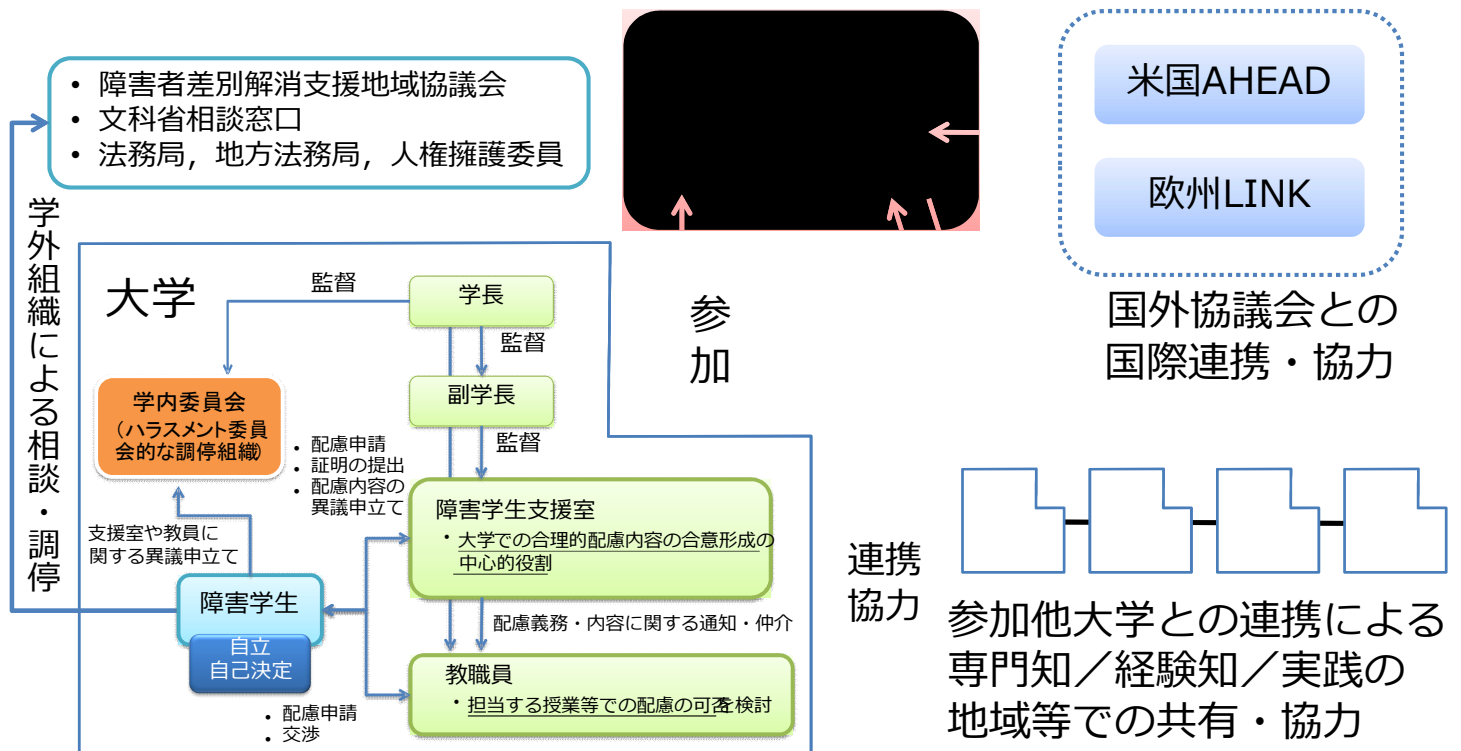
事業内容

- 高等教育機関における障害学生支援に関する相互の連携・協力体制を確保するとともに、実践交流を促し、障害学生支援に関する調査・研究及び研修・啓発を行って実務への還元を図り、もって大学における障害学生支援の充実並びに学術研究の発展に寄与することを目的とする事業。
 1. 大学における障害学生支援に関する実践・研究集会の開催
 2. 大学間の障害学生支援に関する連携・協力・研修事業
 3. 大学における障害学生支援に関する国内国外の資料及び情報の収集・提供
 4. 大学における障害学生支援に関する調査・研究
 5. 大学における障害学生支援に関する機関誌、書籍、報告書等の刊行
 6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2

高等教育機関での障害学生支援の体制整備に向けた連携構築

- 会員校の職員・教員が中心となり参加する大会や各種集会，協議会誌等を通じた障害学生支援に関する専門知や経験知の蓄積と全国共有
- 会員の協議による会の運営（扱うべき問題の集約と共有，障害学生支援ガイドライン等の支援の在り方の策定）



AHEAD JAPANで共有される問題意識

- 第2回全国大会(2016年6月25日, 26日, 東京大学駒場第2キャンパスにて開催)の分科会で挙げられ, 協議されるトピック
 - 1. 合理的配慮の決定過程(1)**
 - 学内の紛争解決や, 組織としての意思決定の仕組み, 妥当性判断の根拠
 - 2. 合理的配慮の決定過程(2)**
 - 学外実習の合理的配慮: 身体介助等の可否, 実習時の能力要件, 海外研修・留学生の対応
 - 3. 障害学生支援という職業のキャリアパス構築**
 - 障害学生支援スタッフ(職務上の位置づけ, その専門性とその育成)
 - 4. 大学教育のアクセシビリティとユニバーサルデザイン**
 - 著作権法と障害学生支援, 多様な授業方法のアクセシビリティ
 - 5. 支援の質の担保のあり方**
 - ピアサポーターと支援の質の担保, 地域の障害者支援との連携
 - 6. 障害学生支援室の立ち上げとマネジメント**
 - 運営費交付金・私学助成の考え方の現状, 学内の限られた予算の重点化の方策, 学内での障害学生支援担当の人事のあり方